



学校だより

未来に はばたけ 元気いっぱいの仲間たち

ふるかわ

川崎市立古川小学校
Tel 533-1524

3月号



桃と橘そして桜

校長 田中 仁浩

第22代PTA会長 東使 克民 様が昭和60年2月に寄贈してくださったひな人形を、用務吏員の加藤さんを中心に職員みんなで協力して校長室前に飾りました。通りがかった子どもたちが目を輝かせながら見つめています。その姿を眺める私たち大人もとても幸せな気持ちになります。温かい地域に改めて感謝です。

ひなまつりを彩る花というと桃を想像しますが、古川の森には桃の木がなく、たとえあったとしても旧暦の3月3日は今（新暦）でいうと4月になりますので未だ開花の時期には至りません。代わりに校長室前の段飾りには橘と桜の花が添えられています。

一年を通じて葉が緑であること、長く黄色い実を付け続けることなどから、魔除けや邪気払いの効果がある縁起物とされる橘は、ひな壇のモデルとなった京都御所紫宸殿の両側に桜とともに植えられていることからひな飾りの定番になったそうですが、私たちが暮らす町がかつて橘樹郡に属していたことから身近に感じられます。

一方、桜と言えば卒業式や入学式を連想させます。6年生の卒業まで、いよいよ3週間を切りました。それに先立ち、2月の17日には旅立ちの会、22日には6年生を送る会が開かれました。いずれの会でも、言葉のほか音楽、映像、身体表現など様々な方法を用いて思いが伝えられました。いかなる状況にあっても表現活動は不要不急なものではないということを、子どもたちが教えてくれています。今回の卒業式から、保護者の皆様に加えてご来賓にも参列いただけることになりました。子どもたちの思いを、皆でしっかりと受け止め、心から門出を祝福したいと思っています。

今号で今年度の学校だよりは最終となります。心が弾む、新たな発見や古川小自慢を中心に記してきましたが、思いを十分にお伝えするには努力不足だったと反省しています。去る2月3日に古川小学校は満75歳の誕生日を迎えました。学校創立75周年にあたり、古川・塚越地域のことをもっともっと勉強し、もっともっと好きになり、感じたことや考えたことをお伝えしていきたいと思っています。来年度も引き続き、古川小学校をご支援ください。よろしく願いいたします。

令和4年度も一年間、学校教育活動へのご理解、ご協力、誠にありがとうございました。